



# Microsoft 365

×

# dynabook で

## すぐに始められるビジネス改革

あなたの会社のビジネスツール、次の時代に向けてアップデートしませんか？



Word



Excel



PowerPoint



OneNote



Microsoft Loop



Microsoft Clipchamp



Outlook



Exchange



Microsoft Teams



OneDrive



SharePoint



Microsoft Editor



More security, more performance, more success



# AI時代の競争力は、クラウドから始まる

変化の激しいビジネス環境で、場所や時間に縛られる

オンプレミス環境への依存は、大きなリスクになりかねません。

例えば、外出先で見積もりを即発行できず商談を逃す、

在庫情報が社内にしかなく問い合わせ対応に時間がかかる、

人手不足なのに業務効率化やAI活用が進まない—

こうした状況は、生産性を奪い、競争力を低下させ、成長を阻みます。

Microsoft 365 と Dynabook ソリューションによるクラウド移行で、

働き方・生産性・セキュリティを一新し、未来に強い組織へと改革を始める絶好のタイミングです。

イノベーションや DXも見据え、新時代への一步を踏み出しましょう。

このガイドでは、クラウドによる課題解決のポイント、Microsoft 365 の魅力と活用法、

そして dynabook が提供するソリューションをわかりやすく解説します。

## INDEX

03

Chapter 1 Microsoft 365 とは

Chapter 2

あなたの会社、こんな状態ではありませんか？

04

Chapter 3

3つの視点から考える新時代のビジネスとは？

- ・クラウドで実現する、生産性向上の4つのポイント
- ・クラウドで、ビジネススピードが生まれる4つのポイント
- ・クラウドで強化する、事業継続のための4つのポイント

07

Chapter 4

クラウド・AI時代に最適なビジネスPC

08

Chapter 5

中小企業向け Microsoft 365 プラン

# Microsoft 365 とは

Microsoft 365 は、最新の Windows OS、Office アプリケーション、メール・チャット・Web会議・ファイル共有などを統合したグループウェアで、ビジネスに必要なIT環境をクラウドで提供するサービスです。

このプラットフォームを活用することで、企業はクラウドベースの業務環境へスムーズに移行し、柔軟性・生産性・セキュリティを同時に向上できます。さらに、Microsoft 365 の真の価値は、Word や Excel といったお馴染みの基本アプリケーションを超えた機能にあります。Teams や OneDrive による情報共有、Power Automate による業務プロセスの自動化、Microsoft 365 Copilot によるAI支援、そしてデバイス管理とセキュリティを担う「Intune」など、これらのクラウドソリューションを組み合わせることで、「業務効率化と人手不足への対応」、「意思決定の迅速化」、「事業継続性の強化」といったビジネスの課題を解決し、組織全体のデジタル変革も一気に加速させます。



## ビジネスの課題を解決！

- 業務効率化と人手不足への対応
- 意思決定の迅速化
- 事業継続性の強化



### 最新の Windows OS

- ・ITプロフェッショナル向け管理コンソール
- ・最新OSと継続的アップデート
- ・Windows Autopilot によるOS自動展開



### マルチデバイス対応 Microsoft 365 Apps

- ・PC版 Office (PC/Mac 5台分)
- ・モバイル・タブレット版 Office
- ・ブラウザ版 Office
- ・クラウドストレージ



### クラウド グループウェア

- ・メール (50GB)
- ・スケジュール
- ・情報共有ポータル
- ・チャット、Web会議



### セキュリティ ツール

- ・モバイルデバイス、PC管理
- ・ID/アクセス制御
- ・情報漏えい予防設定



**POINT** マルチデバイス対応で1ユーザーあたりPC5台・スマートフォン5台・タブレット5台までアプリケーションをインストールできる権利も付帯しており、企業のニーズに応じて、無理・無駄なくコストを最適化しながらご利用いただける点も魅力です。

# あなたの会社、こんな状態ではありませんか？

あなたの業務環境が“今の時代”にフィットしているかを確認しましょう。これらのひとつでも当てはまるなら、クラウドへの移行とビジネスツールの刷新のタイミングです。

## オンプレミス版(買取型) Office を利用している企業の課題

- ✓ 必要なファイルがオフィスでしか使えない
- ✓ スマホで作業できない
- ✓ 情報共有がメール中心で非効率
- ✓ ローカル保存でストレージが逼迫
- ✓ 新しい脅威へのセキュリティ対策が後手に回る
- ✓ 社員がプライベートのチャットや会議ツールを利用している
- ✓ ライセンス管理が煩雑でIT負担が増えている
- ✓ PC故障で Office のデータが消失するリスクがある
- ✓ AIや最新ツールの導入が難しく、競争力を高める取り組みに遅れがち
- ✓ 感染症や災害時には業務が止まってしまう



## クラウド版(サブスク型) Microsoft 365 で企業の課題を解決！

クラウドの Microsoft 365 なら  
オンプレミスの制約を解消し、  
どこからでも安全に業務を  
進められる環境を提供。  
限られたリソースでも、  
生産性・スピード・継続性を  
実現し、競争力を高めます。  
さらにAIによる業務変革にも対応します！



# 3つの視点から考える新時代のビジネスとは？

いま、ビジネスは「生産性重視」「スピード競争優位」「継続性重視」の時代へとシフトしています。新時代に対応するためには、柔軟なIT環境と働き方への転換が不可欠です。

1  
視点

## 生産性こそ成長の鍵

場所や時間にとらわれない働き方で、  
限られたリソースでも最大の成果を生み出す。



## クラウドで実現する、生産性向上の4つのポイント

Microsoft 365 なら、場所や時間に縛られない仕事環境へ



### POINT-1

#### いつでも、どこでも 生産性を維持する働き方へ

移動中でもスマホからプレゼン資料を共有でき、営業機会を逃しません。Microsoft 365 でスマホやタブレットでも Office を使える環境が実現します。



### POINT-2

#### クラウドでファイル共有を スマートに

OneDrive なら、大容量のファイルもリンクで簡単共有。メール添付の手間から解放され、出張先や自宅からでも必要な資料にすぐアクセスできます。



### POINT-3

#### 定型業務の自動化と 社内業務のアプリ化で、 生産性を最大化

レポートなどの定型業務は、Power Automate で自動化。勤怠管理や在庫管理などの社内業務は Power Apps でローコード開発によるアプリ化が可能です。



### POINT-4

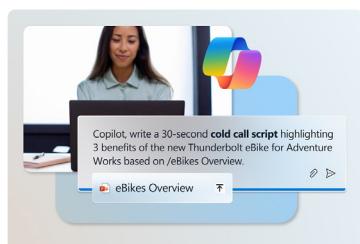
#### バージョン管理不要で IT負担を軽減

クラウド版 Office なら自動更新で常に最新。互換性トラブルや更新作業から解放され、IT管理の負担を大幅削減。

### HINT

#### ビジネスに活用できる生成AIとは？

「無料の生成AIで十分では？」—その考え方にはリスクがあります。無料版AIは、企業情報や個人情報の漏えいにつながる危険性があり、ビジネス利用には不向きです。Microsoft 365 Copilot は、企業向けに設計されたAI。ユーザーのアクセス管理やデータ保護機能を備え、Word や Excel などの業務アプリ上で安全に生成AIを活用できます。リサーチ、翻訳、資料作成、会議の要約など、毎日の業務をしっかりサポート。クラウド移行とあわせて、[Microsoft 365 Copilot](#) の導入もぜひ検討しましょう。



視点  
2

## スピードが競争優位

AI時代はスピード勝負。市場変化に即応し、  
次の一手をすぐ打てる柔軟なビジネスが競争力に。



### クラウドで、ビジネススピードが生まれる4つのポイント

常に時代の変化や働き方の多様性にあわせたビジネスを



#### POINT-1

##### 最新機能で 業務スピードを加速

Microsoft 365 は、市場の変化や「こんな機能があったら便利」といった利用者の声を取り入れ、継続的に進化しています。サポート切れのタイミングでまとめてバージョンアップする従来型では、変化への対応が遅れがちです。



#### POINT-2

##### チームのコラボレーションで スピードアップ

オフィスでも、外出先でも、自宅でも。どこにいてもメンバーと一緒にプレゼン資料をクラウド上でリアルタイム編集できます。困ったときは、Teams のチャットやオンライン会議でその場からすぐ確認・共有できます。



#### POINT-3

##### データ共有で 迅速な意思決定

売上レポートや重要な資料は、SharePointの社内ポータルにまとめて管理。マネジメントも現場も、必要な情報をすぐに確認できるから、意思決定も対応もスピーディに進みます。



#### POINT-4

##### 初期コスト軽減

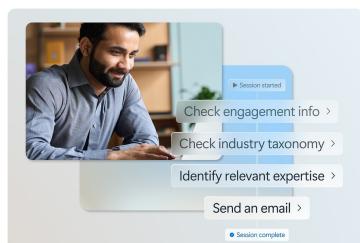
サブスクリプションなので、一括購入は不要。初期コストを抑えられ、経費計上も可能。財務面でもメリットがあります。ビジネスに余裕と柔軟性が生まれ、新規事業にもいち早く取り組めます。

#### HINT

##### 進化したAIでさらにスピードアップ！

汎用AIは幅広い知識を扱えますが、企業固有の業務には特化していません。カスタマイズAIなら、自社データや業務ルールを学習し、CRMやERPと連携して営業や基幹業務を自動化。さらに注目なのがAIエージェント。人の指示を待たずにタスクを分解・実行し、業務を効率化します。

[Microsoft Copilot Studio](#) なら、ローコードで自社に合ったAIエージェントを構築可能。意思決定のスピードが一気に加速します。



視点  
3

## 事業継続性が重要課題

安全性とコンプライアンスを重視、  
リスクに強いビジネスが求められる時代に。



### クラウドで強化する、事業継続のための4つのポイント

予測不能なリスクに強い「止めない仕組み」を構築



#### POINT-1

#### 脅威からビジネスを守る 強固なセキュリティ

中小企業にとってシステム停止や情報漏洩は、経営に直結する課題です。Microsoft 365 は外部からの攻撃やデータ漏洩について十分な対策があり、企業規模に関係なく最新のセキュリティを提供します。



#### POINT-2

#### 基本の コンプライアンス対応

法規制や業界基準に合わせた設定や監査機能を、Microsoft 365 ならクラウドで簡単に実現。オンプレミスでは難しいセキュリティ更新やログ管理も自動化できるので、安心して事業を継続できます。



#### POINT-3

#### 災害・障害対策

クラウド基盤なら、システム停止や障害時も迅速に復旧。オンプレミスでは難しい冗長化やバックアップも標準で対応できます。



#### POINT-4

#### 拡張性のある 柔軟なプラットフォーム

事業の成長や変化に合わせて、必要なリソースをすぐに追加。新規プロジェクトや海外展開にもスピーディに対応できるようになります。

#### HINT

#### より安心・安全なハイブリッドAIという選択肢

「クラウドに社内データを上げたくないけれど、AIは使いたい」そんな企業におすすめなのが、クラウドとローカルを組み合わせるハイブリッドAIです。一般的なリサーチや日常業務はクラウドAIで、社内の機密データの要約や売上分析はローカルAIで処理。こうした使い分けにより、セキュリティを確保しながらAIのメリットを最大限活用できます。AI導入に慎重だった企業でも、安心して業務に取り入れられるのが大きな強みです。さらに、ハイブリッドAIを快適に使うなら、AI処理に最適化されたdynabook Copilot+ PCがおすすめ。超高速NPUを搭載し、AIタスクを高速・省電力で処理できます。クラウドとローカルの両方を活かすことで、セキュリティと生産性を両立させます。



# クラウド・AI時代に最適なビジネスPC

Microsoft 365 やAIツールを最大限に活用するには、生産性とセキュリティを両立する最新テクノロジー搭載PCがおすすめです。



AI時代のビジネスに

「セルフ交換バッテリー」採用。14型プレミアムモバイルノートPC



詳しくはこちら



AMD Ryzen™ プロセッサー搭載。

高性能を身近なものに

13.3型 ハイスタンダード モバイルノート



詳しくはこちら



小型アルミニウムボディで軽量・薄型と高性能を両立

13.3型 スタンダード モバイルノート



詳しくはこちら



第13世代 インテル® CPU搭載。

光学ドライブを搭載したスタンダードなビジネスノート

15.6型 スタンダードなビジネスノート



詳しくはこちら



第12世代 インテル® Core™ プロセッサーと

豊富なインターフェース、

最大128GBメモリ増設可能でハードワークにも対応。

高い電源効率で省エネ化も実現したハイパフォーマンスなデスクトップPC



詳しくはこちら



More security, more performance, more success

\*インテル® Celeron® プロセッサー搭載モデルを除く。

# 中小企業向け Microsoft 365 プラン

ビジネスの目的や成長に応じたプランをお選びいただけます。(従業員規模が300名まで)

アプリ&サービス	Microsoft 365 アプリ <sup>※1</sup>	Storage	Teams	Groupware	Security	AI
	いつも最新バージョンの Office アプリケーション 最新の機能が使える   Word  Excel   PowerPoint  OneNote   Outlook	1 TB大容量の クラウドストレージ どこからでもアクセス ファイルの共有も簡単  	Microsoft 365 の ハブとして機能する Web会議、チャット、通話  	情報共有や業務を効率化 生産性を向上 チームワーク向上 業務効率化ツール   Exchange  SharePoint  Viva Engage   Forms  Planner  Microsoft Loop   Microsoft Clipchamp  Microsoft Editor  Power Apps   Power Automate	脅威対策   情報保護   IDとアクセス管理   デバイスとアプリ管理 	AIアシスタントで 働き方を改革  
Microsoft 365 プラン						
			Microsoft Teams Essentials	¥599 月額/ユーザー <sup>※2</sup>		
			Microsoft 365 Business Basic	¥899 月額/ユーザー <sup>※2</sup>		
			Microsoft 365 Business Standard	¥1,874 月額/ユーザー <sup>※2</sup>		追加オプション ¥2,698 月額/ユーザー <sup>※2</sup>
			Microsoft 365 Business Premium	¥3,298 月額/ユーザー <sup>※2</sup>		

## POINT

### Microsoft Teams Essentials

オンプレミス環境を維持しながら、まずはオンライン会議やチャットを始めたい企業に最適なプランです。

### Microsoft 365 Business Basic

リーズナブルにクラウドへ移行したい企業におすすめ。遠隔での共同作業やチームのコラボレーションがスムーズになり、場所を問わず生産性を高められます。(※注意:Officeアプリはオンライン版のみ利用可能です。)

### Microsoft 365 Business Standard

最も人気のあるプランです。デスクトップ版 Officeも利用でき、クラウドとローカルの両方で業務を効率化できます。社内ポータルの活用やワークフロー、業務プロセスの自動化で、企業の働き方改革を支援します。

### Microsoft 365 Business Premium

セキュリティ強化やデバイス管理が必須の企業向け。より高度なビジネスデータ保護機能を搭載し、大企業並みの堅牢なセキュリティ環境を実現します。データ損失防止など、よりコンプライアンス対策を強化したい企業にもおすすめです。

これらのプランに加え、ビジネス向け生成AIを使いこなしたいという方は、[Microsoft 365 Copilot Business](#) のアドオン(追加)をご検討ください。クラウドへの移行は、基本プランの「Microsoft 365 Business Standard」でスタートし、必要に応じて機能を拡張していくのがおすすめです。さあ、Microsoft 365 でビジネス変革への第一歩を踏み出しましょう。

詳しい Microsoft 365 のプランや価格、その他のサービスについては、[日本マイクロソフト公式 Web サイト](#)をご覧ください。

※1 1ユーザーあたりPC・Mac 5台、スマートフォン 5台、タブレット 5台まで利用可能。

※2 Teams が含まれた価格。年間契約・税抜。Teams が含まれないプランの価格については、[日本マイクロソフト公式 Web サイト](#)でご確認ください。

※2025年12月31日時点の価格です。

**Dynabook株式会社** 資料請求・商品紹介などお気軽にお問合せください。■お問合せ <https://dynabook.com/business/contact.html>

●Clipchamp, Clipchamp アイコン、Excel, Excel アイコン、Exchange アイコン、Intune, Loop アイコン、Microsoft, Microsoft 365, Microsoft Copilot アイコン、Microsoft Loop, Microsoft Teams, Microsoft Teams アイコン、OneDrive, OneDrive アイコン、OneNote, OneNote アイコン、Outlook, Outlook アイコン、Power Apps, Power Apps アイコン、Power Automate, PowerPoint, PowerPoint アイコン、SharePoint, SharePoint アイコン、Windows, Windows ロゴ、Word アイコンは、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

●AMD, AMD Arrow ロゴ、Radeon, Ryzen およびそれらの組み合わせは、Advanced Micro Devices, Inc. の商標です。

●その他の本カタログに記載されている社名・商品名・サービス名などは、それぞれ各社が商標として使用している場合があります。

※本資料は 2025年12月に作成されています。最新情報については当社担当営業までお問合せください。